

<2030年のSDGs達成に向けた経営方針と目指す姿>

人材教育を通じて、社会問題の解決を図る。具体的には、自国では若年層の人口比率が高く、低賃金や就職難に直面するベトナムの若者に、教育の機会を提供し、人材不足という経営問題を抱える日本企業に人材紹介し、日本の各種法令に則り、双方をサポートすることで、SDGs3,4,8,9,10,11,16,17の達成に寄与する。

<SDGsに関する重点的な取組み及び指標>

三側面 (分野に <input checked="" type="checkbox"/>)	SDGsに関する重点的な取組み	指標 (更新時に向けた数値目標)
<input checked="" type="checkbox"/> 環境 <input type="checkbox"/> 社会 <input type="checkbox"/> 経済	環境センター職員の協力の元、外国人材に日本のごみ分別について講習を行い、適切な分別・リサイクルを進める。	外国人向けごみ分別研修実施 2023年6回 → 2026年12回
<input type="checkbox"/> 環境 <input checked="" type="checkbox"/> 社会 <input type="checkbox"/> 経済	・日本で暮らす外国人材向けに日本語教育、生活オリエンテーションを実施する。外国人材を受け入れる日本企業にやさしい日本語の使用・異文化理解を進める。 ・ベトナム人専用の24時間365日対応の相談窓口を設け、生活面や仕事上での困難を解消するためのサポートを行っている。 ・ベトナム人労働者と日本人が健康促進と相互交流を図るため、定期的にスポーツ交流会を開催している。	外国人材向け日本語教育・生活オリエンテーション実施 2023年12回 → 2026年15回 ベトナム人・日本人スポーツ交流会開催 2023年6回 → 2026年12回
<input type="checkbox"/> 環境 <input type="checkbox"/> 社会 <input checked="" type="checkbox"/> 経済	・低賃金や就職難に直面するベトナムの若者に雇用の機会を提供し、人材不足に直面する企業に人材を紹介し、日本・特に地方の経済発展に寄与する。 ・実習生が日本で習得した技術やスキルは、帰国後のベトナム国内でも活用され、両国の経済発展に貢献する。	外国人材紹介人数 2023年実績 154人 →2026年目標 400人

・「SDGsに関する重点的な取組み」には環境・社会・経済の三側面の全てについて、重点的な取組みを記載してください。なお、取組みが複数の分野に該当する場合は、それぞれの分野にチェックを入れてください。
 ・「指標(更新時に向けた数値目標)」には、それぞれの取組みに対する「目指す姿」の実現を念頭に、それを評価するための指標と、**現状の数値および更新時(3年後)の数値目標を記載してください。**(例:採用の人数:2023年〇人→2026年〇人)更新時には実績を報告する必要があります。

<パートナーシップ>

ベトナム人技能実習生・特定技能人材、彼らの教育を担うベトナムの送出機関、彼らを受け入れ、日本や地域の経済発展を担う日本企業、関連行政機関である外国人技能実習機構、入管、外国人材に選ばれる熊本を目指す団体や自治体(県・市)、地域と連携し、SDGs3,4,8,9,10,11,16,17の達成を目指す。

・「パートナーシップ」には、企業やNPO法人、行政など関係機関との連携を記載してください。